

# データベースと連携する各種アプリ（タブレット・スマホ）の概要

## 農業農村整備情報管理システム（ynnデータベース）と連携するシステム

### ため池点検システム

タブレットを使用



- ため池点検データ（点検表、写真）の登録ができる
- 台帳、写真、浸水想定区域図、ハザードマップ、過去の点検データが閲覧可能
- ルート検索機能により、ため池までのルートが容易に確認できる
- 登録データは、データベース上の『ため池点検集計』で閲覧・編集が可能



### ynn 報告アプリ

スマートフォンを使用



- 現地でスマートフォンから被害情報等（写真、コメント等）を登録できる
- 日常点検や地域保全活動の記録等にも活用
- 登録された内容は、データベース上の『ynn報告アプリ集計』で確認できる
- 多面的機能支払や中山間地域等直接支払の各種活動を記録する「活動日誌」の作成や、豪雨災害時における「被害調査」も可能



### 災害時被害調査システム

タブレットを使用



- 災害箇所の写真撮影、略図作成、被害額簡易算定ができる
- 登録された内容は、データベース上の『災害被害調査集計』で閲覧・集計が可能であるほか、『被害状況資料作成』から参考資料の出力が可能
- 『ynn報告アプリ』とデータ連携することで、報告アプリにより報告された地点の情報が地図上に反映されるため、被害箇所の特定・確認作業が容易となる
- ルート検索機能により、報告地点までのルートが容易に確認できる



# データベースと連携する各種アプリ（タブレット・スマホ）の概要

## ため池点検システム



### ため池点検システムで効率的な点検を！

『ため池点検システム』を活用した「防災重点農業用ため池」の点検  
これまで

- 毎年、梅雨期前に関係者（県、市町、ため池SC、管理者等）で老朽化が確認された**防災重点農業用ため池**の「点検パトロール」を実施
- 点検票（紙ベース）の準備、Excel等による点検結果の集約等に**多大な労力**

#### 導入の効果

タブレット端末の活用

- 山口県ため池データベースとの連動により、事前の**点検票作成の労力が軽減**
- 管理指導に係る**各種資料の準備が不要**（点検マニュアル、ハザードマップ等を格納）
- 点検票、写真など、ため池ごとに**自動で紐付け、ファイル整理が不要**
- 全ため池の点検結果を一括で集約し、**通知資料等の作成スピードがUP**
- 点検結果をサーバへ登録・蓄積することにより、関係者で**情報を共有**

#### ため池点検システム（タブレット）の機能

①現地案内機能による移動



②搭載資料による管理指導



③現地点検等の撮影記録



④点検票のチェック



⑤衛星・道路地図へ描き込み



- 【搭載資料】
- ・ため池データベース（台帳）
  - ・ため池点検履歴（過年度分）
  - ・ハザードマップ
  - ・漏水想定区域図
  - ・ため池点検マニュアル
  - ・ため池オルソ画像 等

#### 点検準備、データ集約・活用の流れ

- ①共有サーバから調査票や資料を事前に**ダウンロード**
- ②点検終了後、共有サーバへデータを**アップロード**
- ③ため池データベースに集約し**点検集計システム**の活用



詳しくは、山口県農村整備課（083-933-3413）までお問い合わせ下さい。

#### ため池点検システム



- 現地で点検する**ため池**を選択し、①**点検票入力**、②**写真撮影**、③**略図作成**、④**資料活用**ができます。
- 現地で作成登録した資料は、すべて各**ため池**に紐付けされます。
- その日の点検終了後、サーバに**アップロード**します。

#### タブレット画面

ため池切替      レイヤ切替等

ため池リスト

1 ため池点検票      2 写真撮影

3 略図作成      4 資料活用

現場での作業が完了した項目はグレー表示

#### 共有サーバ

点検結果集計

共有サーバ

タブレット点検集計

集計システム

ため池点検票      指導事項

- 各ため池の点検結果や管理者への**指導事項**、**集計表**などが閲覧・出力できます。

情報の蓄積・共有、**管理指導**に活用！

詳しくは、山口県農村整備課（083-933-3413）までお問い合わせ下さい。

# データベースと連携する各種アプリ（タブレット・スマホ）の概要

y n n 報告アプリ  

## ①施設点検・災害情報・NN活動等の報告・共有



※ynnとは「山口県(y)農業(n)農村整備(n)」の頭文字を示したものです。

○県では、ため池の点検や維持管理情報、豪雨・地震時の災害情報、また農業農村の風景などを撮影し、住民避難や防災対策、農業農村の振興に役立てる「報告アプリ」を整備しました。  
○施設の管理・点検、被害状況の報告などにご活用ください。

手順① アプリ  をダウンロードしてください。

今すぐアプリをダウンロード!!

やまぐち 農業農村 検索

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

※Apple、Appleのロゴは、米国もしくはその他の国や地域におけるApple Inc.の商標です。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。  
※Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。

手順② アプリを起動してください。

▼登録する写真の位置、報告者を特定するため、下記設定が必要です。

- 初期登録時に、団体名、氏名、連絡先を入力してください。
- GPS機能をONにしてください。※OFFだとアプリの利用ができません。

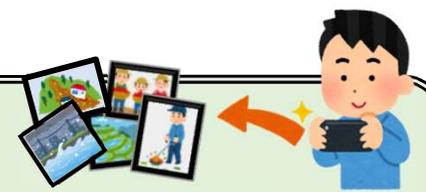
手順③ アプリで撮影してください。

▼撮影した写真は、スマホの通信機能によりシステムに登録されます。

- 撮影ボタンを押してください。
- ※コメント入力（キーボード、音声）も可能です。
- ※動画の撮影も可能です。

- 👉 写真・動画の送信に係る通信料は、送信者の負担となります。
- 👉 報告が必要な場合は、市町や県の関係部署までご連絡ください。

詳しくは、山口県農村整備課（083-933-3413）までお問い合わせ下さい。



## アプリ活用例

アプリを活用した報告例です。コメントで写真の内容が分かりやすくなりますよ。

○被害状況の報告



大雨で堤体の一部が崩れました。下流に被害はありません。



堤体の法面が崩れました。現在、水位を下げています。

○大雨時の点検状況の報告



昨日の雨でため池の水位が上昇しています。特に異常はありません。



大雨で土砂や流木がため池に流れ込みました。堤体に被害はありません。

○施設の点検状況の報告



ため池の法下に漏水があります。前回確認したときと量は同じくらいです。



ため池の法面の浸食がかなり進行しました。斜樋周辺もえぐられています。

○維持管理状況の報告



●●組織の〇名で、ため池の草刈りを行いました。



週末の大雨に備え、ため池の水位を下げました。

○防災活動の報告



緊急時の対応として、サイホンの使用訓練を行いました。



地域の関係者で、避難場所の確認など、話し合いをしました。

詳しくは、山口県農村整備課（083-933-3413）までお問い合わせ下さい。

# データベースと連携する各種アプリ（タブレット・スマホ）の概要

ynn 報告アプリ  

## ②日本型直接支払（多面・中山間）活動日誌作成

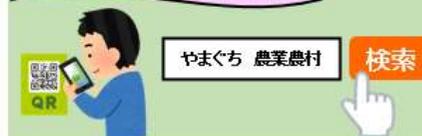
日本型直接支払の取組を行う**農業者**の皆様へ

 **スマホアプリで活動日誌を作ろう!**

**活動日誌作成ツール**  
の運用を開始しました!! 



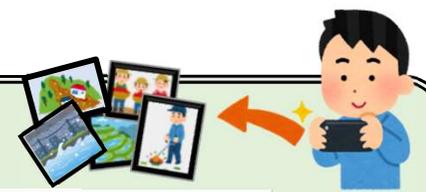
今すぐアプリをダウンロード!!



App Store からダウンロード  
Google Play で手に入れよう

※Apple、Appleのロゴは、米国もしくはその他の国や地域におけるApple Inc.の商標です。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。  
※Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。

詳しくは、山口県農村整備課 (083-933-3423) までお問い合わせください。



○県では、**多面的機能支払**や**中山間地域等直接支払**の活動状況を、スマートフォンで撮影し、簡単な登録作業で「**活動日誌**」が作成できる**アプリ**を整備しました。  
○これまで、デジカメなどで整理していた「紙」の写真帳を**ペーパーレス**で関係者で**共有**することができ、**事務作業の軽減**や、**効率化**につなげていきます。

- 手順1** アプリ  を**起動**してください。
- ・団体名、氏名、連絡先の入力（登録時）、**GPS機能**の「ON」が必要です。
- 手順2** **活動日誌**モードで**撮影**してください。
- ポイント**  日誌レイアウトも考慮し、「**横向き**」での撮影を推奨しています。
- 手順3** 活動項目など必要事項を**登録**、**送信**してください。
- ・スマホで完成させた**最終の日誌**は**サーバ**に登録するようにしてください。
  - ・サーバに登録したデータは、いつでも**閲覧・検索・ダウンロード**できます。
- ポイント**     完成版をサーバへ

**!** データ送信に係る**通信料**は、送信者の負担となります。  
※自宅や事務所に**Wi-Fi環境**が整っている場合は、**スマホに日誌を一時保存**し、**完成後**に自宅や事務所から**サーバへ登録（送信）**することをお勧めします。

### 日誌サンプル

- ①活動時間や参加人数等は後から編集できます。
- ②活動内容は選択事項が自動で表示されます。
- ③必要事項をメモした場合、コメント欄に記載されます。
- ④撮影した写真が日誌に貼り付けられます。
- ⑤組織名等は自動で表示されます。
- ⑥一つの活動に対して写真を複数枚登録する場合、自動で次紙を作成します。

多面的機能支払交付金	活動日誌	中山間地域等直接支払交付金	活動日誌
活動日時: 2019/05/10 活動場所: 山口県山口市 活動内容: 中山間地域等直接支払 活動時間: 08:00 - 16:00 参加人数: 10名 備考:	① ② ③ ④ ⑤	活動日時: 2019/05/10 活動場所: 山口県山口市 活動内容: 中山間地域等直接支払 活動時間: 08:00 - 16:00 参加人数: 10名 備考:	⑥

詳しくは、山口県農村整備課 (083-933-3423) までお問い合わせください。

# データベースと連携する各種アプリ（タブレット・スマホ）の概要

y n n 報告アプリ  

## ③ 災害時の初動調査（被害調査・集計）

**y n n 報告アプリ**  
**農地・農業用施設災害**  
**被害調査ツールで効率的な初動調査を!**

県・市町・県土連・災害ボランティア向けのツールです。

※y n nとは「山口県(y) 農業(n) 農村整備(n)」の頭文字を示したものです。

○県では、各市町における豪雨災害等による**農地・農業用施設**の被害状況を迅速・確実に集約し、円滑な復旧作業につなげるため、被害時の**初動調査**をサポートする「**被害調査ツール**」を整備しました。  
 ○緊急時の点検報告と併せ、積極的にアプリを活用ください。

▼集計用サーバと連携し、関係者で**リアルタイム**に情報共有できます。  
 ▼農家からの報告情報を取り込むことで、**調査漏れ**を回避できます。



**被害情報登録**  
 (箇所、写真、被害額)

情報の蓄積、リアルタイム共有      迅速な被害報告      的確な災害対応

- 写真登録やオンライン地図表示などに係る**通信料**は、送信者の負担となります。
- オフライン地図も活用できます。**Wi-Fi**等であらかじめダウンロードを!
- 集計用サーバにリアルタイムの登録が可能、**Wi-Fi**で一括登録も可能です。

詳しくは、山口県農村整備課 (083-933-3413) までお問い合わせ下さい。

**y n n 報告アプリ**

○登録箇所と、写真、被害額情報が紐付けされます。  
 ○復旧工法は基本的なもののみ、設定しています。  
 概ねの**延長**や**高さ**の入力で被害額算定できます。

**1** 被害箇所を登録します

**2** 工種区分、復旧工法を選択後、**写真撮影**と**被害額算定**ができます

**写真撮影**

**被害額算定**

**共有サーバ**

**被害額集計**

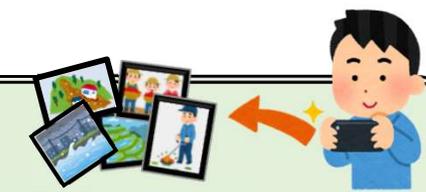
**集計システム**

**被害状況図作成**

- エクセル、パワーポイントで出力できます。
- 出力後、編集作業が可能です。

報告、協議に活用!

詳しくは、山口県農村整備課 (083-933-3413) までお問い合わせ下さい。



# データベースと連携する各種アプリ（タブレット・スマホ）の概要

## 災害時被害調査システム



### 災害時被害調査システムで効率的・着実な調査を！

『災害時被害調査システム』を活用した「農地・農業用施設」の被害調査

#### これまでの「大規模災害」時における課題

- 応援で現地調査へ行った職員は土地勘も無く、被災箇所の特定に苦慮
- 被災箇所の調査漏れや把握に手間取り、同一箇所でも複数回の現地確認が発生
- 紙資料での情報管理により集計、集約作業に苦慮



- ×タブレット端末のGPS機能により、**現在地や調査箇所を随時特定**
- ×位置情報の一元管理により、**調査方針や効率的な調査を実施（漏れ、重複防止）**
- ×タブレット登載のオルソ図、写真撮影アプリ、被害額算定シートの連動により、**被災箇所図、被害額集計、被災状況資料の早期作成、集約が可能**
- ×査定設計書作成に向けた**現地測量作業等への移行がスムーズ**

#### 災害時被害調査システム（タブレット）の機能

① 現地案内機能による移動

② 被災箇所の登録

③ 被災状況等の撮影記録

④ 衛星・道路地図等へ描き込み

⑤ 被害額算定シートの入力

- 工種  
農地、水路、道路 等
- 復旧工法  
ブロック積、フトン籠、排土 等
- ※目視による概ねの被災  
延長・高さを入力

#### 調査及びデータ集約・活用の流れ



詳しくは、山口県農村整備課（083-933-3413）までお問い合わせ下さい。

### 災害時被害調査システム



- 登録箇所と、写真や被害額情報が紐付けされます。
- 復旧工法は基本的なもののみ、設定しています。概ねの延長や高さの入力で被害額算定できます。

#### タブレット画面



#### 被災時箇所ごとのデータ

1 箇所登録

2 写真撮影

3 略図作成

4 被害額算定

現地での作業が完了した項目はグレー表示

#### 共有サーバ

#### 集計システム

#### 被害額集計

被害状況図作成

- エクセル、パワーポイントで出力できます。
- 出力後、編集作業が可能です。

報告、協議に活用！

詳しくは、山口県農村整備課（083-933-3413）までお問い合わせ下さい。